

# 主なご意見やご要望

## 災害復旧対応

て、別の場所への新設を要望している。

——震災以降、和名田集落研修センターの井戸に臭気、汚濁がある。放射性物質の測定では問題がなく、地震の影響かもしれないが、水質検査は行政区が行うのか。現在は使用禁止している。

——日本たばこ跡地で行われている災害がれき(地震で損傷した屋根瓦、コンクリートブロック、モルタルなど)の搬入・集積について、申請用紙では平成23年11月までとなっている。今後、いつまで受け付けるのか。

——いったんは処理するが、その後も、しばらくは受け付ける予定である。

——小野中学校のプールは、宮城県沖地震の時にも損壊し、復旧工事を行っている。同じ場所に作らないようにしてほしい。

——盛土したところにあり、今回の震災でも被害があった。国の災害査定において、

地震の影響はなかった。今後とも、災害時に影響が出るのではないように万全を期してもらおう。いわき市も含め三者協定を締結しており、搬入が終わった後も、当該企業には適切な管理が求められる。

——住宅が損壊し、新居を建てる際に、一時的にアパートなどを借りる必要がある。優遇措置は無いのか。

——住むことができない人は優先的に借りることが可能となる。なお町では全壊、半壊の被害に遭われた方には細かく説明を行っている。

## 災害時の情報提供、今後の防災対策

——報を収集するのが大変であった。

——今回の災害では、防災行政無線と消防団による情報提供が主であった。防災行政無線が聞こえない地区を解消するため、以前、消防団と協力して調査し、基本的に解消されたと考えているが、現実的には聞こえないケースもあるかもしれない。

——なお防災行政無線も受信できる防災ラジオを町が半額負担して希望者に配付するが、約350台の申し込みがあった。※すでに配付済み

——空家の防災行政無線を活用してはどうか。

——検討したい。

——二重サッシなどにより住宅の機能が向上し、以前より町の防災行政無線の放送が聞こえない場合がある。今後、町からの情報提供手段として、どのように考えるか。

——災害時の情報提供のあり

——方も含め、総合的に検討していきたい。

——震災時は、固定電話や携帯電話が使えない状況であり、町への連絡手段がなかった。現在の防災行政無線は一方通行でしかないの、双方の機能を検討してほしい。

——現在、震災を受けて、町の防災計画を見直している途中である。防災行政無線や連絡方法についても検討していきたい。

## 罹災証明書の発行

——罹災証明書により、税金などの免除制度などがあると聞いた。どのような制度か。

——直接担当課である税務課、町民生活課に問い合わせしてほしい。なお国税の部分は税務署に問い合わせしてほしい。